



(仮称) 埼玉東松山上野本1421-1営農型太陽光発電所

事業計画説明会

開催日 令和7年12月3日（水）19時～20時

事業者：東急不動産株式会社

営農者：Agrico Farm株式会社

工事施工者：株式会社TERRA

代理人：沼田行政書士法務事務所

目次

1. 太陽光発電事業の趣旨
 2. 事業計画概要
 3. 設置工事中の粉塵・騒音・振動対策
 4. 資材・廃材の搬出入や管理方法
 5. 安全対策、防災等の措置
 6. 維持管理の方法、非常時の対応
 7. 発電事業終了時の撤去及び廃棄の方法
 8. 事業区域の周辺環境に及ぼす影響、対策
-



1. 太陽光発電事業の趣旨

【太陽光発電事業の趣旨】

※営農型太陽光発電事業の趣旨として

・農地を適正に管理・活用しながら、地域農業の振興と再生可能エネルギー導入の促進を両立させる事を目的としています。
農業の担い手不足や耕作放棄地の増加といった地域課題に対応するとともに、発電事業により得られる安定収入をもとに、農業経営の基盤強化にも貢献します。

2. 事業計画概要（1）

【事業計画概要 発電事業】

発電事業者：東急不動産株式会社

設置形態：営農型太陽光発電

事業計画地：埼玉県東松山市上野本1421-1

発電出力：（DC）60.56 k W （AC）49.5 k W

保守点検責任者：リニューアブル・ジャパン株式会社

運転開始予定日：2026年4月1日

2. 事業計画概要（2）

【事業計画概要 営農事業】

営農者：Agrico Farm株式会社
（XXXXXXXXXX氏）

耕作予定作物：水稲

太陽光発電施設の架台を高く設け、
太陽光パネルの下部で耕作をおこな
います。



実際の収穫イメージ



2. 事業計画概要（3）

【事業計画概要（仮）工事スケジュール】

日程（予定）	項目	備考
2025年12月	・ 住民説明会 ・ 農転申請 ・ パネル、架台、PCS等設備発注	
2026年1月	・ 農転申請許可通知受領	納品時期については現場の状況で変更になる可能性があります。
2月	・ 設備の納品 ・ 工事開始	
3月	・ 工事完了 ・ 系統連系	
4月	・ 運転開始	

3. 設置工事中の粉塵・騒音・振動対策

【粉塵対策】

・有害な粉塵が発生する工程はありませんが、粉塵が発生する恐れがある場合は、散水や防塵シートなどにより粉塵の飛散を防止します。

【騒音、振動対策】

- ・作業時間は原則として平日の8:00～17:00とし、早朝および夜間の工事はいりません。
(工程の進捗に応じて、稀に例外的な対応を行う可能性はあります)
- ・基準を満たした低騒音型重機を使用します。
- ・打撃系工法を避け、可能な限り低振動の施工方法を採用します。
- ・振動が予想される作業は、日時を事前に周知します。

4. 資材・廃材の搬出入や 管理方法

【資材搬入・搬出】

- ・通勤・通学時間帯を避け、交通への影響を最小化します。
- ・車両出入口に誘導員を配置し、歩行者・車両の安全を確保します。

【管理方法】

- ・置場を限定し、立入禁止措置をします。
- ・廃材は分別し、リサイクルを推進します。
- ・置き場は防火管理を徹底し、シート養生等を用い、流出・飛散を防止します。

搬出入経路（予定）



5. 安全対策、防災等の措置

【安全対策】

- ・ 揚重時のカラーコーン設置等、立入禁止区域を明確化します。
- ・ ヘルメット・保護具着用等の安全教育を徹底します。

【防災対策】

- ・ 火気使用時は監視員を配置し、消火器を設置します。
- ・ 資材や仮設物管理を徹底するとともに、気象警報発令時は作業を中止します。
- ・ 避難経路を設定し、作業員に周知します。

【連絡体制】

- ・ 現場責任者・施工会社・自治体・消防署の連絡先等、緊急連絡網を明確化します
- ・ 災害発生時は速やかに周辺住民、行政へ状況を報告します。

6. 維持管理の方法、 非常時の対応

保守点検責任者であるリニューアブル・ジャパン株式会社による月次の定期点検および電気主任技術者による法定点検の実施により設備の管理を行います。

また、設備の不具合等に対しては、遠隔監視システムによるリアルタイムでの確認が可能であり、リニューアブル・ジャパン熊谷出張所より駆けつけ対応を行います。

7. 発電事業終了時の撤去 及び廃棄の方法

- ・ 発電事業終了後は、太陽光パネル・架台等をすべて撤去し、農地として復元します。
- ・ 廃棄物はすべて法令に則り、適切に処理いたします。

8. 事業区域の周辺環境に 及ぼす影響、対策

- ・ 設備と隣地境界間には十分な空地が確保されるため周辺農地に対して、早朝および夕方以外、太陽光パネルの影の影響はありません。
- ・ 盛土等はしないため、周辺への土砂流出の恐れはありません。
- ・ 農地となりますので、雨水は敷地内自然浸透とします。

補足資料



